

青田知史町政報告

令和4年8月1日発行 第17号

産業経済常任委員会所管事務調査（7月13日）

この調査には委員外議員として参加し、（１）十勝岳ジオパーク推進事業、（２）パークゴルフ場管理運営事業、（３）美瑛小麦推進事業のそれぞれについて担当課の説明を受け、その後福祉バスで移動して穀類乾燥貯蔵施設と町内３か所のパークゴルフ場の現地視察を行いました。



美瑛小麦
スタンプラリー
2022.4.29-10.31

モバイルスタンプラリーも開催中

３つの事業いずれも重要な事業ですが、とりわけ美瑛小麦のブランド化を「美瑛小麦推進協議会」が中心となつての取り組んでいる状況や、美瑛小麦スタンプラリーを通じて店舗で新たな顧客が増えた好事例などの説明を興味深く聞くことができました。

総務文教委員会所管事務調査（7月15日）

今回の調査では、（１）不登校児童・生徒支援、（２）「スマート行政推進事業」の２点について担当課の説明を受けました。両事業ともに個を大切にしていることが伝わってくる説明でした。

また旧五稜小学校を有効活用してオープンしたりサイクルショップ「Antta（アンタ）ラボ」と、旧四季の交流館の「藍染結の杜」の見学を行い、本町において公民連携による行政財産の有効活用が進み始めていることを実感することができました。



第17号の内容

特集：青ちゃんとフリートークの会

1、活動報告会として

2、皆様の声を聞かせてください

☆昼下がりのコラム①・②

☆気になることば

☆次号の予告

町政に活力を！

まちづくりに希望を！

青田ともふみ

検索



QRコードでアクセス

◆特集 青ちゃんとフリートークの会

1、活動報告会として

美瑛町議会議員として、3年4か月活動してきました。

昨年4月からは、活動報告の一環でこの「**青田知史町政報告**」を発行し、また今年1月からは、より分かりやすく気軽に読んでいただけるようにと、「**青ちゃんのざっくり町政ニュース**」も始めました。

町議会としては、佐藤議長が中心となって進めている「議会改革」の取り組みの一つとして、今年の1月31日（月）に美瑛町町民センターで、講演会・意見交換会を開催し、予定時間を超えて活発な意見交換が行われました。

本来であれば、議員個人としての活動についても、私は町民の皆様に直接言葉でお伝えし、顔を合わせて疑問や質問にお答えできるような「**場**」を作って、「**活動報告**」をしたいと思っていました。

しかし、コロナ禍ということもありこれまで開催してきませんでした。また、正直に言いますと、開催の案内をして、誰も来なかったらどうしよう？と一抹の不安もあります。

コロナの感染拡大については、いまだ安心できる状況にはありませんが、行動制限が発出されていない中で、しっかり予防を心がけて活動報告会を9月～11月の期間に3回ほど開催できればと考えています。「**青ちゃんとフリートークの会**」です。

開催日時と場所等については、あらためてお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



2、皆様の声をお聞かせください

開催にあたっていくつか私なりに運営のあり方を考えました。基本的には二部構成で開催します。

◎私の活動について「町政報告」などをもとにお伝えする時間（第一部 10分）

◎町民の皆様からの疑問、質問などに答えられる範囲内でお答えしたり、お考えや提案を聞く時間（第二部 50分～最長で80分程度）

第二部については、町政に関して聞きたいことがあれば、事前に私宛にお伝えいただき、それに対して私もしっかりと準備してお答えしたいと考えています。また、「まちづくり提案事業」ではないですが、町民の皆様の声をお寄せいただき、それを町政つなげていきたいと考えています。私からの一方通行の報告会にするつもりはありません。

皆様の声をお聞かせください

昼下がりのコラム① 「くまヒーロー」

「青ちゃんのざっくり町政ニュース」でも取り上げた、北海道（美瑛町も？）非公認ローカルヒーロー「蝦夷戦記ビエイド -EZO BIEID-」の話です。

ビエイドは、秘密結社ヒルザダークと戦う正義のヒーローなのですが、子供たち向けに「くまヒーロー」というぬいぐるみを作ったり、その作り方も教える心優しきヒーローでもあります。

私もくまヒーローに興味を持ったので、ビエイドに直接話を聞くと、どかんと農業まつりのこども広場でも、このくまヒーローの手作り教室を開催するとのこと。

簡単にできて可愛いと評判のくまヒーロー！
タオルで作るぬいぐるみなのでお金もかからず
各地で好評のようです。

子供たちの笑顔があふれるどかんと祭りを、
私もとても楽しみにしています。



ビエイドとくまヒーロー

昼下がりのコラム② 「3人に1人」

日本人の3人に1人は、痔にかかっているといわれているそうです。

実は私もそのひとりで、ここ2年ほど旭川市内の病院に通院していました。当初は薬を処方されて、「頑張って、薬で治療していきましょう！」と主治医に励まされながら治療して、生活習慣にも気をつけていたつもりだったのですが、先日を受診の際に「うーん手術したほうがいいですね」となりました。

主治医の指示に従いきちんと手術をして治す決断をしたのですが、議会の仕事、職場のシフト、病院の空き状況などを確認しつつ議会事務局にも相談して、お盆を挟んで入院することにしました。どかんと農業まつりには、参加できる予定です。

日曜日の昼下がり、痔の予防法などあれこれ調べていましたら、茨城県水戸市に「みと肛門クリニック」という病院があることを知りました。

もちろん地名に由来する名前なのでしょうが、尾張、紀伊と並ぶ御三家の水戸藩主・徳川光圀の別称、水戸黄門を想像したのは私だけではないような気がします。

何はともあれ、9月には定例会がありますし、その後には個人の活動報告会なども計画しています。しっかりと治して、これまで以上精力的に議員活動に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします！



気になることは「マイナちゃんカー」

マイナンバーカードの普及遅れを受け、総務省は住民の取得率が平均未滿の630自治体を「重点フォローアップ対象団体」に指定し、美瑛町もその指定を受けることになりました。地方交付税額への影響も懸念されています。

全国の特別区・市のトップを行くのが、宮崎県都城市です。人口は、16万3571人（令和3年1月1日）。そして、その交付済枚数は13万3013枚（令和4年6月末）。実に**人口に対する交付枚数率は、81.3%**と8割を超えています。

交付が開始された平成28年からトップを独走しているのには、いくつかの理由があるようです。ジチタイワークスという自治体職員向けの雑誌の記事によれば、同市ではタブレット端末の携帯性を活かし、**商業施設や企業に職員が出向き申請手続きのサポート**を行ってきたそうです。

また、最低5人からの出張訪問をさらに進化させ、**1人からでも出張**するようにしたのが、「マイナちゃんカー」。導入の背景には、高齢者の取得率が伸び悩んでいたことにあるといいます。理由のひとつに、市役所へ行けないがあり、**申請する意思があるのに対応できていない層へのサービス**として考案されました。それまでの5人からの出張サービスは、集客や場所の確保が難しく個別対応で個人宅に上がるのは課題だった。そこで**専用車を用意し、車内で手続き**ができるようにしたといいます。

行政が**待ちの姿勢ではなく地域に出向き**、美瑛町でいう行政区長や町内会長に協力をしてもらい、池田都城市長の「**誰一人取り残さない**」という思いをもとに、「デジタルこそアナログで」と実績を積み重ねていった姿には学ぶ必要があると私は思っています。

美瑛町の6月末時点の交付枚数率は37.5%。せめて平均に到達するためにも、今一度交付枚数率向上のために何をすべきか、方策をしっかりと考えるべきではないでしょうか。



都城市のマイナちゃんカー

☆☆☆ 次号の予告 ☆☆☆

火祭りも無事終わり、暑い暑いと言っているけど、いつの間にか朝晩が涼しく感じられます。この時期パークゴルフに参加することもあるのですが、いつまでたっても上達しません。上手くなるコツを教えてくださいたいものです。9月号は、議会報のことを取り上げて、可能であれば皆様にアンケートにご協力をいただきたいと思います。

町政に関してのご意見等がありましたら、お気軽にご連絡ください。また、お知り合いで「町政報告」「ざっくり町政ニュース」を購読希望の方がいましたら、ぜひご紹介ください。今後ともよろしく願いいたします。